ごあいさつ

会 長　宮垣 和生

理事長　森垣 裕孝

平素は当金庫をご愛顧いただき、厚くお礼申し上げます。

本冊子は、皆様に当金庫へのご理解を一層深めていただくために作成したものでございます。

当金庫の業績、業務内容などについてご理解いただく一助になれば幸いに存じます。

さて平成30年度は、米国と中国の貿易摩擦による海外市況の不安定な状況が続き、日本の輸出産業にも大きな影響を与え、一時業績が落ち込む局面もありました。一方、観光産業についてはインバウンド消費による効果や2020年の東京オリンピックを控え、訪日観光客は3,000万人を超え順調に伸び、今後も増加が見込まれています。

そのような環境下、日銀は引き続き物価上昇目標2%を掲げ、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続するとしており、低金利環境は当面の間、継続する方針としています。また日経平均株価は、10月に27年ぶりの最高値をつけるなど2万円台を概ね維持しており堅調な推移となりました。

平成30年度は、中期経営計画「原点回帰 新たなステージへの着実な進展」（平成28～平成30年度）の最終年度として、協同組織金融機関の原点に立ち返り、①地域との共生による地域密着型経営の強化、②収益力の向上による経営基盤の強化、③内部管理の徹底による経営管理態勢の強化、④人財育成による組織力の強化の4つを基本戦略として掲げ、取り組んで参りました。その中で、人と組織に関する社会課題や人材育成サービス等の面で高い実績を誇る、株式会社 Do TANKやパーソルホールディングス株式会社と業務提携契約を締結し、人手不足や採用に課題を抱えているお客様の課題解決の提案に取り組んでおります。さらに、新たな店外ATMコーナーとしてメガストック館出張所をオープンし、お客様の更なる利便性向上に取り組んだほか、出資会員管理システム導入による出資証券のペーパーレス化を実施し、内部事務の効率化を図っております。

平成30年度の決算につきましては、期末残高で、預金積金は4,479億46百万円、貸出金は1,786億24百万円となりました。当期純利益は、資金の効率的な運用、経営全般の合理化に努めました結果、運用環境が厳しい中、貸出金の増強、諸経費の削減などにより11億3百万円を計上すると共に、自己資本比率も25.01%と引き続き高い健全性を確保しております。なお、出資金の配当率につきましては、前年と同様の年6%とさせていただきました。

依然として低金利環境が続いていることから、金融機関の収益状況は厳しいものとなっております。そうした経営環境の中、令和元年度以降の3ヵ年におきましては、新たな中期経営計画、「原点回帰 新たなステージへの持続的な発展」を策定いたしました。顧客との接点の向上による地域密着型経営の強化、組織力を発揮した提案力の向上、継続的な信頼を得るための経営管理態勢の強化を掲げ、金庫100周年に向け、より地域に必要とされる磐石な営業基盤と確固たる経営基盤を有する金庫となるべく、役職員一丸となって信用金庫の理念追及に取り組んで参ります。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

会 長　宮垣 和生
理事長　森垣 裕孝

Contents

当金庫の事業方針…… 03
当金庫の概況…… 04
但馬信用金庫と地域社会…… 05
中小企業の経営支援
　及び地域活性化への取組み…… 07
主な商品・サービスのご案内…… 13
おすすめ商品・サービスのご案内…… 16
主な手数料のご案内…… 21
総代会…… 23
役員・組織…… 25
たんしんのあゆみ…… 26
統合的リスク管理態勢…… 27
お客様に「安心」「安全」に
　お取引いただくために…… 29
財務の状況…… 37
注記事項…… 39
預金の状況…… 42
貸出金の状況…… 43
有価証券の状況…… 47
有価証券・為替の状況…… 49
経営指標その他…… 50
自己資本の充実の状況…… 53
店舗紹介…… 61
キャッシュコーナーのご案内…… 62

円山川（豊岡市）

兵庫県北東部を流れる一級水系の本流。全長68kmの円山川は、日本海に近づくにつれ勾配が極端にゆるやかになり、その水面は池沼と見間違うほど穏やかに流れています。豊岡市はコウノトリ野生復帰の取組みでも知られており、円山川下流域・周辺水田は2012年7月にラムサール条約に登録されています。